

わかば通信創刊号



近藤内科病院院長
近藤彰

ごあいさつ

秋も深まって朝夕すっかり冷えてまいりました。皆様には日頃より近藤内科病院に厚い信頼を寄せて頂きまして職員一同感謝しております。

当院は四月病院新築とともに、マルチスライスCTをはじめ、最新の医療機器を導入し、診療レベルの向上に努めております。また電子カルテ、オーダーリングシステムと「私のカルテ」の運用を図って皆様に病気についての十分な説明ができますように心掛けております。今後も病院の方針である、皆様が納得して質のよい医療を受けて頂けるように精進して参ります。

この病院新聞は今後の当院のあり方とか、勤務している職員の考え方などを皆様にご理解して頂き、ご意見を頂く「病院のかわら版」を目指しております。どうぞよろしくお願いいたします。

近藤内科病院院是

私たちは医療技術と心を磨き、
患者の皆様が常に最良の医療が受けられるように
全力を尽くします。

命の質(QOL)を高める医療
患者・家族の皆様が安心できる医療
職員が楽しく働ける医療
社会の進歩に貢献できる医療

私たちの目指すもの

各専門医による診療を中心にマルチスライスCT、電子スコープなどの最新検査機器を導入して診療レベルの向上に努めています。

病気の予防と早期発見・治療に取り組み、地域一般病院として地域医療に貢献します。
今後とも宜しくお願い申し上げます。

各科ご紹介 緩和ケア病棟

ここ緩和ケア病棟では、病気と闘っている患者様やその御家族様に対して、疼痛の緩和はもちろん、今ある時間を少しでも有意義に過ごせるよう微力ながら援助させて頂いております。

全室を完全個室とし、各個人のプライバシーにも配慮した造りとなっております。各患者様の誕生日には病棟全体でお茶会を行い、本人様にはスタッフよりのメッセージ入りバースデーカードとお花のプレゼントをさせて頂いております。少しでも患者様・ご家族の皆様への心の和みとなれば幸いです。またスタッフへの明日への励みとなります。

まだスタートしたばかりの、今はまだ名ばかりの緩和ケアかもしれませんが少しでも「真」の緩和ケアが行えるようスタッフ全員、今後とも頑張っていきたいと思っております。



緩和ケアスタッフの皆さん

ちょっと

健康教室 骨粗鬆症(こつそしょうしょう)

高齢化が進む中、骨粗鬆症という言葉を目にする事が多くなってきました。骨粗鬆症とはその言葉のとおり骨量が減少して骨がもろくなり、ちょっとしたことで骨折しやすくなる病気です。中高年に多い病気ですがとくに閉経後の女性は急激に骨量が減少し、若い頃の半分近くまで減少します。これは女性ホルモンの減少により骨が作られるより、壊されるほうが上回るために骨の量が減っていくからです。

骨粗鬆症により骨折しやすいところは背骨(脊椎)や、脚の付け根(大腿骨頸部)、手首(橈骨遠位部)などです。背骨が折れると痛みに加えて瀬が縮んだり、腰が曲がり内臓を圧迫して様々な異常を引き起こします。また、大腿骨頸部骨折は老人の寝たきりの原因の第二位となっています。

骨折による寝たきりの防止には、骨粗鬆症の治療や予防が重要になってきます。無理のない日々の運動により筋力の低下を防ぎ、転倒しないようにすることも必要ですが、骨密度を測定し骨折の危険性があるようなら早めの治療が必要です。昨年発売された治療薬により骨密度を増やす事が可能となりました。詳しくは医師にご相談ください。

こんなところに目安箱！

このたび近藤内科病院では目安箱なるものを設置いたしました。これは皆様のお声を頂戴して我が病院をよりよくしていきたいと思っ

近藤内科病院の更なる発展を目指して謹んでお受け致します。

でもたまにはほめてね・・・

各階に設置してありますのでどしどしご意見のほうよろしくお願ひいたします。

職員一同心よりお待ち申し上げております。

12月から健康教室再開！！

お待たせしました。今年12月(予定)から近藤内科病院の健康教室を再開する予定となりました。わかりやすいお話で、やさしく説明いたします。題目は糖尿病・高血圧・高脂血症・肝炎・骨粗鬆症・心臓病などについてです。

場所は近藤内科病院3階のカンファレンスルームを予定しております。詳細日時は追って掲示いたします。ご自分の健康が気になる方、ふるってのご参加をお待ちしております。

ホームページ作成中！！新年早々見られるかもね？

[Http://www.kondo-hp.com/](http://www.kondo-hp.com/)

● 情報屋さんによる

骨密度測定器導入！！あなたの骨は大丈夫ですか？今すぐチェック！！

このたび近藤内科病院において骨密度(骨粗鬆症を分析する)機械が導入されました。これによって今の骨の状態がわかったり、骨折のしやすさなどが予測できます。この数値の低い人は早期に、骨を強くするお薬などを服用することによって、骨折などの危険から守る対策をとることもできます。

高齢者、特に女性の方は、女性ホルモンの関係で骨粗鬆症になりやすく、また腰の骨の圧迫骨折や転倒時の骨折などもしやすくなります。ステロイドなどの長年にわたる治療でも骨はもろくなってきます。それを数値で検査しようというのがこの骨密度を測る機械です。

簡単な検査で痛みもなく受けられるのでぜひ受けてみてください。